



第 66 号

千 町 田

新体制発足

任期満了に伴い今年度より新体制となりました。三役の方に抱負を伺いました。

◎代表理事

河津 一行 (飯生町)

少しずつ春めいてきて、いよいよ今年の春作業が本格的に始まるうとしています。2月の総会で、私のような者が組合長に選出され初めての事業となります。

私が掲げる最大の目標は、ここ数年の厳しい経営状況から脱すること、具体的にはこの3年間で売上総利益を少しでも出すということです。私はのきの郷で10年間理事として携わってきましたが、今が過去から未来への転換期と考えています。地球温暖化や緊迫した世界情勢に加えスマート農業やAIの導入等、ここ数年世界はめまぐるしく変化し、これからの農業分野へも少なからず影響を



及ぼすと思われる。そして新しい時代に対応できる人材の育成が必要です。将来を担う次世代のための準備を始めていきたいと思っています。

私は微力ながら「物づくりは人づくり」「人づくりが幸せづくり」をモットーに、これから従業員一人丸となって頑張っていきたいと思っています。組合員の皆様ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

◎副代表理事(専務理事)

内田 卓実 (利弘町)

この度新しく専務理事に就任致しました内田です。今までは、一組合員として作業を中心にのきの郷の事業に携わってきました。指示を受けた作業をやるだけではありませんでしたが一組合員としてこの組織がどのような考えで動いているのか、自分なりに感じておりました。

この度、専務理事という職を皆さんに与えていただきました。この職務の責任は自分がのきの郷に携わってきた程度では理解しているつもりですがこれからはこの職務に対しての責任がついてくることをひしひしと感じております。農業の抱える諸課題はいろいろ



とありますが、日本の食糧事情を考え、持続可能な産業として守っていくうえでの施策の一つが圃場整備事業であります。のきの郷はいち早く現状を踏まえてこの事業に乗り今日があるわけですが、事業を進めていくうえで諸課題も出てきています。

のきの郷の組織が持続可能な方向に進んでいくように考え、行動に示していきたいと考えております。そのためには組合員の皆さんの協力がなければ成し遂げられないと思います。これからよろしくお願いたします。

◎副代表理事(常務理事)

山本 耕一 (赤崎町)

新年度を迎えのきの郷は新役員体制でスタートする運びとなりました。農業を取巻く環境は非常に厳しいものがありますが、この難局を組合員の皆様と役員と共に営農活動計画を共有し、課題解決に向けて一層のご協力とご参加をお願い申し上げます。

昨年秋から経営コンサルに指導を仰ぎ、経営力、組織力など各切り口から取組内容などを分析評価して頂き、経営能力は二億円余りの力はあるが未だ改善の余地がある状態であるとの評価を頂きました。今期作よりこの評価を無駄にすることなく、Plan(計画)Do(行動)Check(評価)Action(改善)の頭文字をとってのPDCAサイクルを繰り返すことによってより良い方向に結びつけて行きたいと考えています。

更に、きめ細やかな圃場管理ができるように頑張りたいと思っています。そして水稻の反収アップになるよう土壌診断を基に各圃場に試験的に土壌改良剤を施用していますがこの効果が確認できるのは今期の出来秋となります。営農関係の取組みについても一層のご支援をお願い申し上げます。



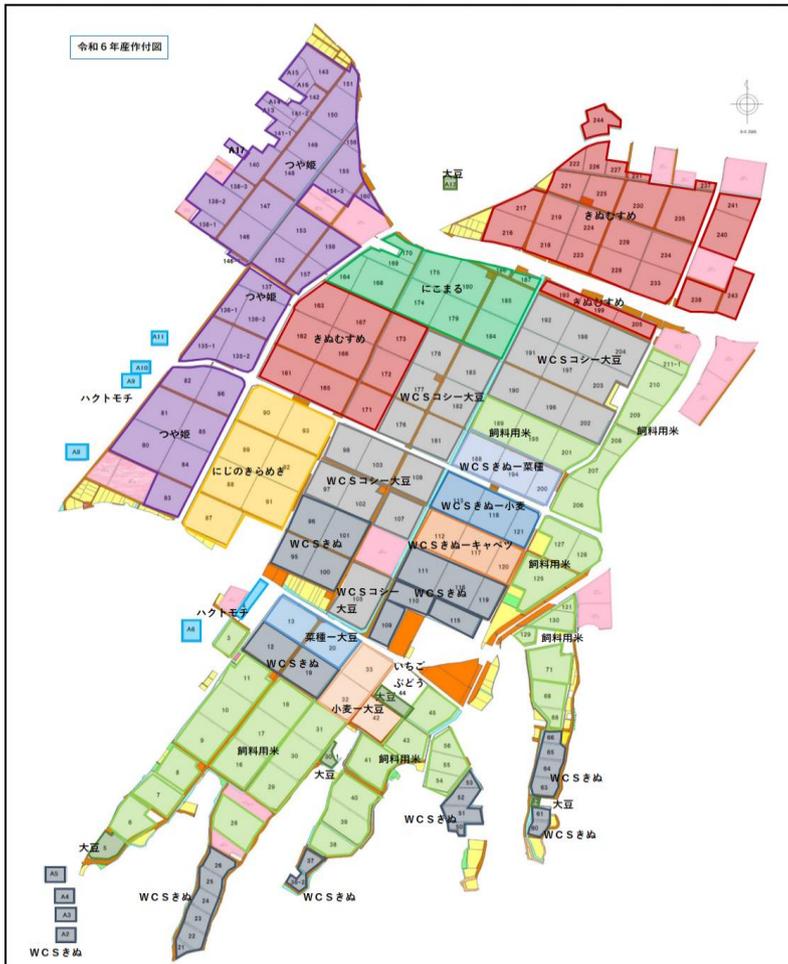
◎理事紹介

- 飯生町 佐伯 正志
- 利弘町 小林 潤也
- 赤崎町 山本 明



令和6年作付け計画

作付計画が決まりました。昨年作に比べて「きぬむすめ」が減り「WCS用稲」が増えました。「WCS用稲」は複数の品種を使うことで刈取り時期をずらし作業を平準化出来るようにしています。刈取り後は2作目の作付けを順次行います。



1作目	作付面積	2作目	作付面積
つや姫	252,608		
きぬむすめ	264,205		
にこまる	81,998		
にじのきらめき	83,404		
ハクトモチ	8,624		
飼料用米	310,046		
WCS	446,320	菜種	25,276
		小麦	26,826
		キャベツ	26,715
大豆	11,592	大豆	268,230
小麦	27,884		
菜種	18,937		
いちごハウス	1,440		
ぶどうハウス	1,920	トマト	864
作業通路など	3,096		
	1,512,074		347,911

お知らせ

◎アンケート回答のお願い

のきの郷では役員任期更新時期に合わせて組合員の皆様アンケートを実施しております。各戸にアンケート用紙を送付いたしますので、お手数をおかけしますがご協力いただけますようお願いいたします。



第11期通常総会 開催

2月18日に第11期通常総会を能義交流センターにて開催しました。3年ぶりに通常な形で開催することが出来ましたが書面議決書での議決が多数で出席者が少なかつたのは残念でした。組合員の皆様のご意見を直接うかがう機会でもありますので今後多数ご参加していただけるようお願いいたします。



◎保有米・縁故米申し込み

令和6年産保有米・縁故米の申込書を送ります。無洗米をご希望の場合はのきの郷よりJA精米センターに希望袋数を搬入しますので米の引取りは不要ですが、別途各自でJA精米センターとの契約が必要となります。米の価格は8月下旬に決定しますので別途ご連絡いたします。申込書は4月30日までにのきの郷事務所まで提出してください。

お悔やみ申し上げます

利弘町 宮本 純一様



☞ちよっこし聞いて☞

暑くなったり寒くなったり季節が定まらない日が続いていましたが、あんなに賑やかだった白鳥たちが北へ帰りツバメの姿を見かけるようになりまし。あちらこちらでさまざまな花が咲き始め、それとともに草が元気に伸びてきています。また草取りの季節かと思いつつなんだか心ウキウキしてきます。(ウ)

